

令和4年度厚木市議会友好都市交流訪問団（網走市）報告書
【概要版】

1 訪問期間 令和5年2月10日（金）～2月12日（日）

2 訪問先 北海道網走市

3 訪問団 2人
団長 松田則康 議長
事務局 小泉祐司 議会事務局長

4 目的

国内友好都市である北海道網走市に、市議会を代表して訪問し、議会関係者や友好交流団体等との友好親善を図ることを目的とする。

5 訪問日程

2月10日（金）

8時30分 厚木市役所 出発
12時35分 羽田空港（発）JAL567便
14時20分 女満別空港（着）
15時10分 網走市表敬訪問
15時45分 オホーツク流氷館見学
18時30分 議会・市長部局4市合同歓迎会
（厚木市、網走市、糸満市、天童市）

2月11日（土）

9時30分 流氷砕氷船おーろら乗船
11時00分 オホーツク流氷まつり開会式参加
11時50分 モヨロ貝塚館見学
12時40分 流氷硝子館見学
15時00分 博物館網走監獄見学
18時00分 4市議会交流夕食会
（厚木市、網走市、糸満市、天童市）

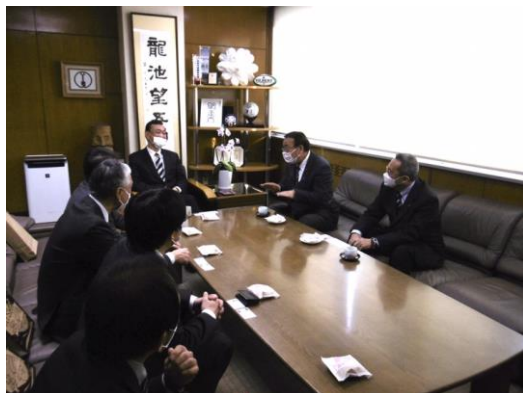
2月12日（日）

10時00分 ^{とうふっこ} 濤沸湖水鳥・湿地センター見学
11時00分 北方民族博物館 見学
15時00分 女満別空港（発）JAL564便
17時30分 羽田空港（着）
19時30分 厚木市役所 到着

6 主な訪問内容

(1) 網走市表敬訪問 【2月10日(金)】

網走市役所で表敬訪問を実施した。網走市の水谷市長、後藤副市長、網走市議会の井戸議長、金兵副議長、林事務局長が出席された。



(2) 議会・市長部局 4市合同歓迎会 【2月10日(金)】

網走市の友好都市である糸満市の當銘市長、金城議長ほか2名、観光物産交流都市である天童市の山本市長、村山議長ほか2名を交え、網走市主催の4市合同歓迎会が開催され、各市のまちづくりや地域振興などについて、幅広く活発な意見交換を行うことができた。

(3) オホーツク流氷まつり 開会式参加 【2月11日(土)】

エコセンター2000 特設会場にて2月11日から12日までの2日間開催される「第58回あばしりオホーツク流氷まつり」の開会式に参加した。厚木市、糸満市及び天童市、そして捕鯨文化を縁とした友好パートナーシップ協定を結んでいる韓国蔚山^{ウルサン}市の方々が舞台上で紹介された。

開会式終了後、網走市民の方々の手作りによる冰雪像や物産展等のまつり会場を視察した。観光客や家族連れの方で、会場は大変な賑わいであった。



(4) 4市議会交流夕食会 【2月11日(土)】

金兵副議長のほか、網走市議会議員会の会長である松浦敏司議員や副会長の山田庫司郎議員が加わった4市議会交流夕食会では、両市議会において、今後も引き続き協力関係を維持し、教育やスポーツ交流など行政や市民とともに多くの行事等で親交・親善を深め、友好関係を図っていくことで相互理解を得ることができた。また、糸満市議会並びに天童市議会との親睦も一層深めることができた。

(5) その他の訪問内容

① オホーツク流氷館見学 【2月10日(金)】

流氷の天使と呼ばれるクリオネなどの飼育展示がされていた。流氷体感テラスでは、マイナス15℃の室内で本物の流氷を展示するほか、光と音の演出で幻想的な空間を演出し、流氷の訪れた網走の1日のうつろいを体験した。流氷幻想シアターでは、総インチ数400インチスクリーンの五面シアターで流氷の映像などで、神秘的な流氷の世界とオホーツクの自然を体験した。

② 流氷砕氷船おーろら乗船 【2月11日(土)】

暖冬の影響もあり、例年より小さい流氷であったが船上から身近に見ることができた。海外の観光客も数多く乗船しており、海外から見ても網走市の観光資源が大変な魅力を伴っていることが確認できた。

③ モヨロ貝塚館見学 【2月11日(土)】

貝塚を復元した幅9メートルの「断面図」のほか、六角形の床や炉、祭壇などを実物大に再現した竪穴式住居、顔に土器を被せて死者たちを葬った墓域などが展示されており、古代オホーツク、網走に暮らしたモヨロの人々の暮らしと文化を学ぶことができた。

④ 流氷硝子館見学 【2月11日(土)】

流氷硝子は、廃棄された蛍光灯から生まれ変わったガラス※「エコピリカ」で製作されており、地球環境などを考慮された製品であることが確認できた。

※エコはエコロジーのエコ、ピリカは「正しい、美しい」という意味のアイヌ語

⑤ 博物館網走監獄見学 【2月11日(土)】

メイン施設である「五翼放射状平屋舎房」(五舎房)など、当時の受刑者の服役状況や北海道開拓時の刑務所の果たした役割や、ロシアから北を守る上で、労働力として、囚人を使役させて北海道の防衛と開拓が進められたことなどを知ることができた。

⑥ 濤沸湖水鳥・湿地センター見学 【2月12日(日)】

野鳥を始めとする様々な生き物などの映像鑑賞や、展示スペースで天然記念物のオオワシやオジロワシなどの資料を見学した。濤沸湖は、渡り鳥の大規模な飛来地などとして重要な湿地であることが認められ、平成17年にラムサール条約登録湿地となっていることなどをご教示いただいた。湖畔の森には、オオワシが飛来している貴重な姿を目撃することができた。

⑦ 北方民族博物館見学 【2月12日(日)】

北海道立北方民族博物館は平成3年(1991)年に開館。グリーンランドから北欧まで、アイヌ文化を含めた北方民族の文化とオホーツク文化を紹介する我が国唯一の博物館であり、常設展示には世界各国から集めた約900点を衣食住、生業等のテーマ別に展示されており、北方に暮らす人びとの文化を学ぶことができた。

7 まとめ

冬の大イベント「第 58 回あばしりオホーツク流氷まつり」においては、会場を移して、3年ぶりに開催され、食と体験をテーマに工夫されたイベントであると感じました。

観光資源はそれぞれコンパクトに市内にまとまっており、渋滞は無く、道路も整備されているなど、国内外を問わず、多くの観光客の姿があり、参考となるものでした。両市議会の対話の中で、両市が今後も、経済や産業、文化に留まらず、教育やスポーツ交流など、広い階層や多くの行事等で行政や市民とともに、親交・親善を深め、互いに利益となるような友好関係を進めていくことが確認されました。

また、網走市と友好都市の糸満市、観光物産交流都市関係にある天童市とも長時間にわたり親しく交流の場がもて、各種の意見交換ができたことも、本議会として大変有意義な訪問となりました。